

令和 3 年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

河北採択地区協議会

目 次

1	国語	1
2	書写	3
3	社会（地理的分野）	5
4	社会（歴史的分野）	7
5	社会（公民的分野）	1 1
6	地図	1 4
7	数学	1 5
8	理科	1 9
9	音楽（一 般）	2 2
1 0	音楽（器楽合奏）	2 3
1 1	美術	2 4
1 2	保健体育	2 6
1 3	技術・家庭（技術分野）	2 8
1 4	技術・家庭（家庭分野）	3 0
1 5	英語	3 2
1 6	道德	3 5

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	国語(国語)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びを支える言葉の力」では、学習した「論理的言葉の力」「文学的言葉の力」「対話的言葉の力」を巻末で一覧にし、系統的に学習が進められる仕組みになっている。 ・話すこと・書くこと、読むことの教材では、言語活動の過程や生徒同士の対話の例などが具体的に示されている。 ・教材冒頭には目標と生徒の立場に立った「問いかけ」が示され、教材末には身に着ける資質・能力が「言葉の力」として明示されている。 ・記述式の「振り返り」が設けられ、日常生活にどのように生かしていきたいかという視点で振り返ることができるようにしてある。 ・身近な場面を漫画で描いた「学びの扉」によって課題に気づき、基礎編「学びを支える言葉の力」に導かれ、そこで学習した内容が次の教材で生かされる仕組みとなっている。 ・「漢字道場」では、「他教科で学ぶ漢字」が取り上げられ、他教科と関連し相互に学びを深めることができる教材に教科関連マークが示されている。 ・「話す・聞く」「書く」の教材では、生徒同士の対話の例が示され、主体的・対話的で深い学びに導く工夫がされている。 <p>以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	15	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の最後には「学びの道しるべ」が設定されており、学習の進め方が確認できる他、言葉に着目させる「語彙を豊かに」や考えるための方法が記された「思考の方法」によって、より主体的に学びを深める工夫がされている。 ・「読み方を学ぼう」では、文章を正確に読み解き、深く読み味わうための読みの方略をわかりやすく図解してある。また、関連する既習事項やこれからの学びも上部に記載されており、系統的に学びを深めることができる仕組みとなっている。 ・情報を扱う単元では、多様な情報と文章とを関連づけながら、現代の課題について考えを深める工夫がされている。 ・「学びを振り返る」ではキーワードが示され、目標と照らし合わせながら自分の言葉でまとめることができるようになっている。 ・中学生にとって身近な教材を選び、興味関心を持ちやすく工夫されている。 ・「古典芸能に親しむ」では、声に出して味わえる作品を掲載することで、古典への興味関心が高められるように配慮されている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		

国 語

種目（教科）	国 語（国 語）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の前に「学びナビ」が設けられており、その教材で何を学ぶかがキーワードの抜き出しや図解によってわかりやすく示され、主体的に深い学びへと導くための導入となっている。 ・巻末に「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」が一覧になっており、参考にしながら読み取ったりまとめたりすることができる。 ・読むことの教材では、「この教材で学ぶ言葉」として脚注語句が一覧にまとめられている。 ・SDGs教材を配置してある他、教材をSDGsの視点で選定しており、多様な課題に主体的に考える仕組みになっている。 ・単元ごとに「広がる本の世界」を設定し、各単元のキーワードに即した本の紹介がされている。これにより読書活動を充実させる仕組みになっている。 ・「学びのチャレンジ」では、さまざまな文章や資料を読むことで思考力、判断力、表現力を養う問題が設けられている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	38	発行者の略称	光 村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「思考の地図」が折り込みで配置され、思考を広げる、整理する、深めるためのツールが図解で具体的に示され活用しやすい工夫がされている。 ・「思考のレッスン」や「情報整理のレッスン」が例示や図解を用いて系統的に説明されている。 ・各教材の最後に「学習」のページがあり、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」と学習過程が示されており、主体的に学ぶ工夫がされている。 ・「情報社会を生きる」では、情報の収集、正確な読み取り、必要な情報の選択をし、情報を分析して考えをまとめる力がつけられるようになっている。 ・読むことの教材の後ろにある「学習」では、学習の流れが明確に示され、作品を読み深めたり、自分の考えを持ったりするための言語活動が書かれている。 ・「学習の窓」では、その学習に関わる既習事項やこれから学ぶことが、見出しの横に系統的に明記されているため、見通しをもって学習に取り組める工夫がされている。 ・巻末の「学習を広げる」では、教材で使用された古典の作品のその他のエピソードが収録されており、読み比べや読書の世界を広げる工夫がされている。 ・「話す・聞く」「書く」の教材では、「振り返る」のあとに「つなぐ」が設定されており、学習を日常生活や学校生活、将来へと関連付ける視点を持てるような工夫がされている。 <p>以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	書 写(国 語)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・単元で学ぶことが「書写のかぎ」に記され、それを「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」という学習活動で定着させる工夫がされている。 ・各学年の扉のページでは、三年間で学ぶことの中から、その学年で学ぶことが色分けされて書かれており、見通しを持った学習ができるように工夫されている。 ・「振り返って話そう」では、学習したことを話し合う学習活動が設定されている。 ・国語や他教科等の学習に関連する内容にはマークが記され、それらの学習に生かす工夫がされている。 ・身近で具体的な場面設定をしてあり、気づいたことや考えたことを記入する欄が豊富にある。 <p>以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」では、各学年で学習したことを生かして、生活に活用できる学習活動が設定されており、発展的に学びを深める工夫がされている。 ・「書き方を学ぼう」一覧が巻末に収録されており、既習事項を確認できる工夫がされている。 ・自己の学びについて変容が自覚できるように「自分の文字を書き残そう」が設けられている。 ・手書きの文字の魅力を伝えるために、文字に関わる仕事をしている人たちの考えが掲載されており、キャリア教育との関連が図られている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		

書 写

種目（教科）	書 写（国 語）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習活動や日常生活に生かして書こう」では、学習で身につけた力を発展的な学習活動につなげ、日常の様々な場面で生かせるようになっている。 ・毛筆の学習では、硬筆による「試し書き」と「まとめ書き」によって、変容を自覚できるようになっている。 ・「考えよう」では、筆順や筆脈がわかりやすく解説されており、目標を理解するための考える工夫がされている。 ・「考えよう」では、書き方のポイントを穴埋めで記述する欄が設けられており、学習の定着を図る工夫がされている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	38	発行者の略称	光 村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の窓」では、ほかの文字を書くときにも普遍的に活用できる原理・原則が示されている。 ・学びの定着を図るための「書写ブック」が巻頭に収録されており、硬筆での繰り返し練習ができるようになっている。 ・学習の進め方が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の三段階で構成され、気づきから定着への流れを意識させ、生徒が見通しを持ち主体的に学ぶ工夫がされている。 ・「確かめよう」では、筆使いのポイントが写真で図解されており、実際の筆の動きが目で見ても確かめられる工夫がされている。 ・2年生では、場面に応じて文字を使い分ける必要性を話し合う活動が設定されている。 <p>以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	社会 地理的分野(社会)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小単元ごとの「学習を確認しよう」のコーナーで、学習の確認ができ、また、言語活動の課題を提示することで、表現力が育成できるよう配慮されている。 ・ 導入では、生徒と先生のキャラクターによる吹き出しによって、生徒の興味や関心を高めるとともに、導入資料を読み取る視点を気付かせるよう工夫されている。 ・ 東日本大震災を始めとした様々な自然災害とその地理的要因、復旧・復興のための関係機関の連携や防災・減災に向けた取組を取り上げ、防災・安全への主体的な意識や態度が養えるよう工夫されている。 ・ 世界の諸地域や日本の諸地域の導入では、特徴ある自然や文化などの大きな写真と地図を見開きで掲載することで、地域の概観を捉えやすくするよう配慮されている。 ・ 時差など理解するための時間がかかる内容について丁寧な資料が掲載されている。 ・ 授業1時間ごとにチェック、トライで表され、復習をすることができる。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間ごとに、学習課題と対応させた「確認!」「表現!」のコーナーを設けている。「確認!」ではこの時間に学習したことの基本的内容の定着を、「表現!」では文章や図を書かせることで表現力の向上を図っている。 ・ 巻頭では、SDGs(持続可能な開発目標)を取りあげることで、世界の諸地域で学習する地球的課題との関連に着目できるよう工夫されている。 ・ 写真や資料が大きくダイナミックで、イメージしやすい。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

地 理

種目（教科）	社会 地理的分野（社会）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	4 6	発行者の略称	帝 国
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小單元ごとに、「振り返ろう」「説明しよう」のコーナーがあるので、基礎的・基本的な学習の確認ができ、また、自分の言葉での表現力も育成できるよう配慮されている。 ・世界の諸地域や日本の諸地域では、見開き写真の導入ページを設け、生徒が知っていると思われる有名な観光地や関心を引く地域の文化、特色ある自然や産業の写真を大きく掲載し、各地域の特色が体感できるように工夫されている。 ・世界の各地で暮らす人々の生活を衣・食・住に分けて特徴ある暮らしについて写真を入れながら説かれている。 ・最初の導入ページでは、大きな写真とキャラクターによる吹き出しを掲載し、資料を読み取る視点を掲示したり、学習活動を促したりすることで、興味・関心を高められるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	1 1 6	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの下に、小学校での学習内容や歴史・公民的分野との関連を示すことで、それぞれを関連させながら学習を進めることのできる。特に、小学校での既習事項がわかることで、学習を深めることができると思われる。 ・「深めよう」のコーナーでは、学習課題の理解を深めるとともに、表現力を鍛えるような問いが多く示されている。 ・「自由研究」のコーナーでは、日本や自分自身との関りを考えさせるようなテーマが多く示されており、活用力の向上につながると考えられる。 ・「チャレンジ地理」のページでは、様々な立場から考えさせ、議論させるような展開となっており、表現力・思考力・判断力を育む工夫がなされている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書			
種目(教科)	社会 歴史的分野(社会)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとに「チェック」や「トライ」の設問が設定されており、「チェック」は本文からの抜き出しなど簡単な問いとなっている。一方「トライ」はキーワードなどに合わせて思考を問う問題となっており、習熟度に合わせて取り組めるようになっている。 ・ 今まで以上に資料が充実しており、特に地図資料の充実が見られる。 ・ 他教科で学ぶ内容、他教科との関連性が示されており、社会的事象などについて、教科をこえて理解が深まるようになっている。 ・ 巻末の用語解説が充実しており、知識を深める手助けとなる。 ・ 「まとめの活動」では各時代の特色について、様々な手法を使ってまとめられるよう工夫されている。また「みんなでチャレンジ」の部分ではグループ活動を通じて、根拠をあきらかにして説明する力がつけられるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で習った人物にはマークがついており、生徒が既習事項を思い出せるようになっている。 ・ 「読み解こう」のコーナーでは資料の理解をより深められるよう簡単な問いが設定されており、様々な視点から資料を捉えられるようになっている。 ・ 各章のまとめのページでは、年表を通じてその時代をまとめることができるようになっている。また地図や図・表を使ってさらに理解が深まるよう工夫されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

歴史

種目（教科）	社会 歴史的分野（社会）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	46	発行者の略称	帝国
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページに設定されている「学習課題」が適切であり、一目でイメージできる図や写真も多く、語句の解説欄もあることで、生徒がどのように学べばいいかが分かりやすくなっている。 ・各時代の文化のページが充実しており、時代背景を捉えやすくなっている。文化史を軽視しない点が非常に好感を持てる。 ・「確認しよう」の欄があり、資料集などを活用して理解しておくべきことが明確化されている。 ・「歴史を探ろう」のコーナーがあり、理解を深めるための情報が盛り込まれている。 ・「多面的・多角的に考えてみよう」のコーナーが非常に良い。授業でそのまま活用もでき、生徒の学習の手助けにもなる。複数の資料を組み合わせることで思考することのできる内容である。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	81	発行者の略称	山川
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・用語解説の欄が各ページにあり、生徒が迷いやすい言葉などを、わかりやすく説明されているため、一人でも学習できる工夫がある。 ・ステップアップの欄に、生徒が学習を深めるための発問が設定されており、これを利用することで、生徒も教員もより理解を深めることができる。 ・章ごとにまとめのコーナーがあり、該当の時期を体感しやすい工夫がされている。レポートの課題にすることや、章ごとのまとめの授業に使うことができる点も良い。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	社会 歴史的分野（社会）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	116	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の「見方・考え方」が提示されており、歴史的な見方・考え方を深めるための「時系列」「推移」「比較」「つながり」のうち、どの項目で学習するのかがとてもみやすく、生徒が見通しを持って学習できる工夫がされている。 ・「深めよう」では、思考を深めるための発問が掲載されており、学習したことをさらに深める工夫がされている。 ・「チャレンジ歴史」では、様々から考察する問題が出題されており、複数資料からの読み取りなど、考察する力や説明する力の充実につながる工夫がされている。 ・「連携コーナー」が設けられており、小中のつながりや、地理、公民とのつながりを意識しながら学習に取り組むことができる工夫がされている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	227	発行者の略称	育鵬社
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の初めに、「鳥の目でみる〇〇」のページを設定し、その時代の大きな出来事を、小学校で学習した項目に照らして紹介されており、この章で学ぶ時代の流れを掴みやすく工夫されている。 ・「歴史のターニングポイント」では、各時代の代表的な出来事を特集しており、授業の中で意見交換し、理解を深めることがしやすい工夫がなされている。 ・「人物クローズアップ」では歴史を動かした人物を詳しく紹介しており、人権思想の広がりについても学習の充実が図られるように工夫されている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		

歴史

種目（教科）	社会 歴史的分野（社会）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	229	発行者の略称	学び舎
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな資料などで生徒が大事なことを視覚的に理解できるように工夫している。 ・「歴史を体験する」、「歴史への案内」のページで、調べる方法や視点を示してあり、技能を育成する工夫がある。 ・「世界の歴史地図」、「日本の歴史地図」で、歴史的分野と地理的分野を関連付けられるようにしている。 		
	<p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会 公民的分野（社会）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の「導入の活動」では、生徒が思わず考えたくなるような興味深いテーマが取り上げられており、これから始まる学習に対して関心が高まるよう工夫されている。また、考えをまとめるためのさまざまな思考ツールが紹介されており考えやすい。 ・学習課題に対し、まとめが「チェック」「トライ」「探究のステップ」と順序だてて進み、自然と思考が深まるように工夫されている。 ・各章の「まとめの活動」では、「導入の活動」と共通の題材を使い、その章での既習事項を使ってさらに考えを深めることができるような流れになっている。また、思考ツールが多く紹介されており、文章を書くのが苦手な生徒でもまとめやすいよう工夫されている。 ・見開き1ページでの本文と写真・資料・コラムの配置が統一されていて見やすい。また、ユニバーサルデザインフォントが採用されており、どの生徒にとっても読みやすい。 ・「公民にチャレンジ」「公民にアクセス」など、思考を深めやすいコーナーが1單元ごとにほとんどある。 ・話し合いの題材が豊富である。また、中学生が考えるのにちょうど難易度がいい。 <p style="margin-top: 10px;">以上の理由より、教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にすっきりとした紙面で見やすい。また、ユニバーサルデザインフォントが採用されており、どの生徒にとっても読みやすい。 ・小学校、他分野、他教科の関連事項が記載されているので、既習内容をいかして学習することができる。 ・「学習のまとめと表現」のSTEP1では、章の基本的用語の確認ができる。STEP2では、自分の意見を持ってグループ活動ができ、まとめの学習としても活用できる。 ・「公民の技」で、思考・判断・表現力が育成できる。 <p style="margin-top: 10px;">以上の理由より、教科書としてかなり良い。</p>		

公 民

種目（教科）	社会 公民的分野（社会）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	4 6	発行者の略称	帝 国
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小单元ごとに重要事項や基本的事項が太字で表され、確認しやすい。 ・見開き1ページでの本文と写真・資料・コラムの配置が統一されていて、見やすい。また、ユニバーサルデザインフォントが採用されており、どの生徒にとっても読みやすい。 ・多くの特設ページ・コラムがあり、思考・判断・表現力を問う課題として十分に活用できる。 ・「章の学習を振り返ろう」で、基礎・基本の定着がはかれる。 <p>以上の理由より、教科書としてかなり良い。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の解決の手がかりとなる「見方や考え方」が例示してあり、また、他分野とのつながりも示してあるので、既習内容と関連付けて学習を進めることができる。 ・各編の導入ページにイラストで「学習の始めに」を紹介しているので、中学生が興味を持って学習に取り組める。 ・イラストや4コマ漫画が豊富である。また、ユニバーサルデザインフォントが採用されており、どの生徒にとっても読みやすい。 ・「チャレンジ公民」のコーナーで、課題について自分の考えを書き込むことで、表現力育成にかすことができる。 <p>以上の理由より、教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	1 1 6	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の解決の手がかりとなる「見方や考え方」が例示してあり、また、他分野とのつながりも示してあるので、既習内容と関連付けて学習を進めることができる。 ・各編の導入ページにイラストで「学習の始めに」を紹介しているので、中学生が興味を持って学習に取り組める。 ・イラストや4コマ漫画が豊富である。また、ユニバーサルデザインフォントが採用されており、どの生徒にとっても読みやすい。 ・「チャレンジ公民」のコーナーで、課題について自分の考えを書き込むことで、表現力育成にかすことができる。 <p>以上の理由より、教科書としてかなり良い。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の解決の手がかりとなる「見方や考え方」が例示してあり、また、他分野とのつながりも示してあるので、既習内容と関連付けて学習を進めることができる。 ・各編の導入ページにイラストで「学習の始めに」を紹介しているので、中学生が興味を持って学習に取り組める。 ・イラストや4コマ漫画が豊富である。また、ユニバーサルデザインフォントが採用されており、どの生徒にとっても読みやすい。 ・「チャレンジ公民」のコーナーで、課題について自分の考えを書き込むことで、表現力育成にかすことができる。 <p>以上の理由より、教科書としてかなり良い。</p>		

種目（教科）	社会 公民的分野（社会）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	225	発行者の略称	自由社
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・随所にある「アクティブに深めよう」のコーナーは、生徒が思わず考えたくなるような興味深いテーマが取り上げられている。その単元で学習した内容を活かして、グループ学習などに活用することで知識がより定着し、生きたものになるように工夫されている。 ・章末にある「学習のまとめと発展」では、最重要語句をまとめることで、その章で学習した内容をコンパクトに振り返ることができるよう工夫されている。また、学習の発展では400字で書くための問いが設定されており、まとめの学習として考えを深めることができるようになっている。 <p>以上の理由より、教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	227	発行者の略称	育鵬社
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の最初に小学校での既習内容が提示されている。 ・各章の「学習のまとめ」で、学習内容の確認ができる。 <p>以上の理由より、教科書として概ね良い。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書			
種目(教科)	地図(社会)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合の持続可能な開発目標(SDGs)を取り上げて現代社会の課題について理解できるようにまとめている。 ・地域ごとにテーマ資料が豊富にあり、調べ学習がしやすいように工夫されている。 ・世界の諸地域において、イラストを使って鳥瞰図が記されており、生徒が興味・関心を持ちたくなるような工夫がされている。 ・資料中のジャンプマークでは、関連する資料が提示され、複数の資料を読み取らせ考察することができるように配慮されている。 ・キャラクターを使って、会話したり、資料の読み取るポイントをお知らせすることで、考察しやすいように配慮されている。 ・ウェブページのアドレスや二次元コードが載せてあり、ウェブコンテンツをみることができる。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	46	発行者の略称	帝 国
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版のため、全体的な資料が大きく見やすいようになっている。 ・世界の生活・文化では、写真資料を豊富に使ってそれぞれの特色がつかみやすいように工夫がされている。 ・世界や日本の諸地域では、ともに資料図が豊富にあり、調べ学習がしやすいように工夫がされている。 ・世界の諸地域や日本の地方において、地形の特徴を見やすく表現した鳥瞰図をイラストで記されており、生徒が興味・関心を持ちたくなるような工夫がされている。 ・日本の自然災害・防災では、日本に起こりやすいさまざまな自然災害とその防災の取組がイラストでわかりやすく記されており、ハザードマップを取り上げて防災意識が高められるような配慮がされている。 ・オリンピック、パラリンピックに関する資料を取り上げることで、興味を持って地理学習に取り組めるよう工夫がされている。 ・日本の生活・文化では、伝統的な町並みの保存や方言、伝統的な料理や各地方の特色ある行事などについて多数取り上げている。 ・ウェブページのアドレスや二次元コードが載せてあり、ウェブコンテンツをみることができる。 <p>以上の理由から教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	数学(数学)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「例」と類似した問題や巻末の「補充の問題」が設けられ、個に応じて基礎的・基本的な知識・技能が定着するよう配慮されている。 ・「章のとびら」では生徒の疑問を引き出して学習への動機づけがされ、節の導入では「?(疑問)」からこれからの学びへと向かう意欲が高まるよう配慮されている。 ・「学習課題」がページのトップに黄色の囲みで示され、何をねらっているかわかるよう工夫されている。それに応じた問題「Q」が設定され、 、 、…のステップで学びを進めやすくしている。 ・「深い学び」のページには、問題発見・解決の過程を意識して取り組めるようになっており、考える力が身につくよう工夫されている。 ・「活用の問題」では、自ら考え表現する力を高められるように記述式問題が設けられ、巻末の「解答」に考え方や説明のポイントが示されているのがよい。 ・「学びをひろげよう」では、数学と実社会や職業とのつながりを知り、数学の有用性を実感できるよう配慮されている。 ・「数学のまど」、「数学の自由研究」では、「発展」マークを示した箇所で、高等学校での学習内容が取り上げられ、系統性を意識しながら学習できるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「活動」、「例」、「例題」を用いて学習の流れが分かりやすく構成され、表現や処理の方法を習得できるよう配慮されている。 ・「プラス・ワン」や「補充問題」で、習熟度に応じて補充的な学習や発展的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ・利用のページでは、問題発見・解決の流れを意識して取り組むことで、見いだした問題の解決方法が身につくよう配慮されている。 ・導入問題「考えよう」が設けられ、新たな学習へとつなぐ場面があるが、次の学習内容の見出しの直前に「考えよう」があるため、生徒への興味関心をひくためには、別ページにするなど扱いに工夫があるとよい。 ・各章や巻末に「MATHFUL」、「社会にリンク」、「付録」が設けられ、数学が人間社会の歴史や文化とともに発展してきたことを紹介するなど、身の回りにある数学に目を向け、数学と社会とのつながりや数学の有用性を実感できるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

数 学

種目（教科）	数学（数学）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	11	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「確かめよう」では、振り返って学習することができるよう、既習内容の定着を確認するための問題と併せて「例」や「問」のページが設けられている。 ・「数学的活動」のページでは、身の回りの事象の中から問題を発見し、考察したり、性質を見いだしたりすることで、統合的・発展的に問題を解決できるよう配慮されている。 ・章末の「活用問題」では、論理的に思考したり、説明したりするなどの課題が取り上げられている。 ・「章のとびら」、「役立つ数学」、巻末「さらなる数学へ」などでは、身の回りで数学が役立っている場面が取り上げられ、数学に興味・関心をもち、生活や社会に活かそうとする態度を育てるよう配慮されている。 ・「目標」という表記で学習の目的が示されている部分があるが、学習課題のような表記の方が生徒にとってわかりやすい。 ・「発展」マークを示した箇所や「深めよう」では、発展的な内容が取り上げられ、次の学年の内容や高等学校の数学に興味・関心がもてるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「たしかめ」、「問」、「基本の問題」、「補充問題」で問題に取り組んだり、側注の「もどって確認」に既習内容を示して学び直しができるようにしたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能が定着するよう配慮されている。 ・「 を学習する前に」という新しい章に入る直前に振り返る場面が設定され、学習内容を繰り返し取り上げられているが、「数学の広場」という難しい活用問題の内容から引き続く形で設定されているので、編集に工夫があるとよい。 ・閉じた状態で、章ごとのページが判別しやすくなるように色がついているとよい。 ・活用のページでは、自分の考えを説明したり、話し合ったり、振り返ったりできるよう配慮されている。 ・章末や巻末の「学んだことを活用しよう」では、理由や方法を説明する問題や統合的・発展的に思考する問題が設定されている。 ・章の導入問題「Let's Try」では、日常の事象の考察から数学的活動を始める教材が取り上げられ、新たな章の学習に興味・関心をもつことができるよう配慮されている。 ・「章のとびら」や「数学の広場」では、先端技術に関する話題や数学と職業との関連などを示すことで、学習の必要性や数学の有用性を実感できるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	数学（数学）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「もっと練習しよう」では、「問」と類似した問題が設けられ、繰り返し練習することによって基礎的・基本的な知識・技能の定着ができるよう配慮されている。 ・「章末問題」の「学びをたしかめよう」では、基礎的・基本的な問題を充実させるとともに、理解が不十分であった問題については、該当ページを示して、戻って復習できるようにするなどして、基礎的・基本的な知識・技能が定着するよう配慮されている。 ・「説明しよう」、「話しあおう」、「まとめよう」では、多様な視点や考え方を取り入れながら、ペア学習やグループ学習に取り組みやすいようになっている。 ・学習のめあてが緑色で示されているが、ページの冒頭に位置付けられるとよい。 ・章末の「学びを身につけよう」や巻末の「力をつけよう」では、じっくり考えて解決する問題が取り上げられ、論理的に考える力、工夫する力、連想する力などを育むことができるよう配慮されている。 ・巻末の「学びをいかそう」では、既習事項を身近な課題と関連させたり、さらに広げたり深めたりすることで、数学の有用性を実感し、数学への興味・関心を高められるよう配慮されている。 ・教科書の彩色がユニバーサルデザインで光沢を抑えた色合いになっているのがよい。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	104	発行者の略称	数 研
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の初めに「ふりかえり」が設定され、その章に関連する既習事項をまとめたり、関連した内容が表れた箇所に目印を配置して戻れるようにしたりして、繰り返し確認することで基礎的・基本的な知識・技能が定着するよう配慮されている。 ・「例」にタイトルがつけられており、何をするのかわかりやすくなっている。 ・問題発見・解決のポイントとなる場面にキャラクターの話が掲載され、着眼点を明確にし、解決の見通しをもたせられるよう配慮されている。 ・事実・方法・理由などを説明する問いがあり、「説明しよう」、「やってみよう」、「考えよう」、「調べよう」のコーナーでは、自己の考えを他者に伝えたり、知識・技能を活用したりする場が設けられている。 ・巻頭には、学習の進め方やノートづくり方、レポートの書き方について説明され、本文中にはポイントの説明が適宜配置されて、学び方を身につけることができるよう配慮されている。 ・各章の学びから発生する自然な疑問を扱った教材や日常生活の中にある数学に着目した教材、さらには発展的な内容までが別冊「探究ノート」で取り上げられている。使用する側としては別冊でなく本編に組み込められると使いやすい。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

数 学

種目（教科）	数学（数学）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	116	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」で、既習事項を確認したり、学び直したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能が定着するようになっている。だが、章末問題の「とりくんでみよう」に引き続く形でつながっているため、編集に工夫があるとよい。 ・「例」にタイトルをつけることで、学習内容をつかみやすくしたり、復習しやすくしたりして、基礎的・基本的な知識・技能が定着するよう配慮されている。 ・「学び合おう」では、問題解決型の授業展開が示され、話し合いや振り返る学習活動を通じて学びが深められるよう配慮されている。 ・生徒キャラクターの吹き出しや穴埋め形式の問題などを使って、数学的な説明のひな型が示され、記述式の問題に対応できるよう配慮されている。 ・「章のとびら」や「数学をみつけよう」では、実生活と数学との関連や数学の有用性を実感できるよう配慮されている。 ・発展的な学習内容には「発展」マークが示され、高等学校の数学への接続を意識させたり、学習の定着状況や興味・関心に応じて取り組んだりするよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	理科(理科)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「レッツスタート」「課題」「調べ方を考えよう」など、見通しを持って探究活動ができるように配慮されている。 ・単元の終わりには「確かめと応用」が載っており、基礎・基本の確認ができるとともに、活用力の育成が図られる設定になっている。 ・「レポートの書き方」では、書き方のポイントが示されている。 ・「課題に対する自分の考えは?」「問題に対する結論を表現しよう」など自分の考えを持たせ、表現させる活動が多く設定されている。 ・「結果の見方」「考察のポイント」は、表現する視点が明確に示され、自分の言葉でまとめられるように工夫されている。 ・「科学のミカタ」では、理科の見方・考え方が示されており、深い学びにつながるように配慮されている。 ・「つながる科学」や「世界につながる科学」では、日本の伝統や最先端科学技術、日常生活とのかかわりが紹介されている。 ・科学の歴史を紹介するところでは、必要に応じて漫画が掲載されており、生徒が興味をもって学習に取り組めるように工夫されている。 ・「これまでに学んだこと」や「発展」などで、小中高や教科横断的視点を大切に設定されている。 ・A4スリム版のサイズを採用しており、観察・実験の流れが縦一列に示されている。 ・学習内容と関連したウェブコンテンツを見ることができる箇所には、「Dマーク」で示している。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「問題を見つけよう」や「計画を立てよう」、「結果から考えよう」、「振り返ろう」など、課題解決の能力育成を意識した設定となっている。 ・「コツ」では、安全で正確な観察・実験を行うための着眼点や技能が示されている。 ・すべての観察・実験・実習に「結果の例」や「私のレポート」が示され、まとめ方の参考になるよう配慮されている。 ・単元末問題には読解力問題が載っており、知識の定着及び活用が図られるように配慮されている。 ・探究活動や巻末の「探究の進め方」で、身に付けた見方・考え方を生かす設定になっている。 ・「Science Press」や「くらしの理科」などでは、職業や社会、くらし、環境など幅広く生徒の興味関心を引く工夫がみられる。 ・単元の最初に「これまでに学習したこと」があったり、章の最初に「思い出そう」があったりすることで、既習を確認してから内容に入る設定になっている。また、「発展」や「つながる」を設け、系統性や他教科との関連が配慮されている。 ・学習内容に対応するウェブコンテンツを見ることができる箇所に、マークが示されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

理 科

種目（教科）	理科（理科）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	11	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとに「この時間の課題」と「この時間のまとめ」が示され、学習内容の振り返りができる設定になっている。 ・探究活動では「仮設」を設けており、どんな仮設を立てて観察・実験に臨むかを丁寧に示している。 ・章の最初の「Can-Do List」を見ると、その章をどんな目標で取り組めばよいかわかるようになっており、また、章の最後には「Can-Do List 自己チェック」があり、どれだけ目標が達成できたかを振り返ることができるように工夫されている。さらに学習内容と関連するウェブコンテンツを見ることができる箇所には、QRコードが示されている。 ・各単元末の「学びを日常にいかしたら」には、活用力の育成を図る配慮がされている。 ・1時間ごとに「見方」「考え方」が具体的に示されており、課題解決を通して何が大切かを意識しながら取り組めるよう配慮がされている。 ・「サイエンスカフェ」や「発展」では、現代的な課題や防災・減災、自国や他国を尊重する内容が紹介されている。 ・「振り返ろう・つなげよう」で、小学校との関連を意識した設定になっている。 ・巻頭の「理科のトリセツ」や「教科書の使い方」では、理科の学び方や探究方法を掲載することで、主体的な学びを促す配慮がなされている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの「課題」と「結論」が明確に示されており、基礎的・基本的な知識の習得が図られている。 ・章末には基本問題が掲載されており、基礎・基本の確認ができるように配慮されている。 ・重要語句はオレンジ色で記載されており、より目立つようになっている。また、ルビが重要語句すべてにふられており、特別な支援を要する生徒にもわかりやすい配慮がされている。 ・巻頭に「探究の進め方」や「レポートの書き方」が示されており、探究する力を身に付けられるように工夫されている。 ・「話し合おう」や課題解決のための会話のポイントを吹き出し（絵入り）で示すなど、話し合いをサポートする配慮がされている。 ・「ハローサイエンス」生活（発展・高校）、歴史を設け、揚浜式製塩法などの日本古来の知恵や生活、環境、防災、先端技術について生徒の興味関心を引く工夫がされている。 ・「これまでの学習」や「思い出そう」、「発展・高校」、「ブリッジ算数」などで小中高や他教科とのつながりを意識した設定がされている。 ・側注がなく、ページ上部から下部へのレイアウトとなっている。 ・巻頭にQRコードがあり、ウェブコンテンツが見られる箇所に、「まなびリンク」マークが示されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	理科（理科）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイエンス資料」や「観察スキル」、「実験スキル」では、基本的な観察・実験操作や器具、グラフの書き方が示され、理科で大切な技能習得のための工夫がされている。 ・観察・実験のページにある「探究のふり返し」の項目では、振り返るポイントを考えさせ、何を学んだかを意識させる配慮がされている。 ・「基本チェック」「学習のまとめ」で基礎・基本の確認を図り、さらに、「活用してみよう」「力だめし」で、活用力が身に付くように工夫されている。特に、記述式問題では、根拠を書かせるように配慮されている。 ・「かきこみ」では、図やグラフ、モデルなどを用いて自分の考えが表現できるように工夫されている。 ・「わたしのレポート」や「探Q」を活用して、課題探究を通して思考力・判断力・表現力を身に付けていくための視点が示され、他のレポート作成の参考となるように配慮されている。 ・「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「表現してみよう」や「計画」「予想」「分類」「比較」「作図」などで理科の見方・考え方のポイントが何かを意識して学習活動が行えるように工夫されている。 ・「部活ラボ」、「お料理ラボ」、「深めるラボ」のコラムには、理科を身近に感じ、理科の有用性が伝わり、主体的な学習を促す話題が多い。また、「防災減災ラボ」や「サイエンス資料」で、防災・減災や日本の自然、伝統文化など幅広く身に付くように工夫されている。 ・「つながる学び」や「思い出してみよう」、「深めるラボ」、「発展」で小中高のつながり、他教科との関連を意識して学習が進められるように工夫されている。 ・ウェブコンテンツを見ることができる箇所には、QRコードが示されている。 ・注釈や図が本文の外側に配置されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

音楽（一般）

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書			
種目（教科）	音楽 一般（音楽）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の歌 みんなの歌」では、我が国の自然や四季、文化、日本語の美しさを感じ取ることができるような歌唱共通教材が掲載されている。 ・2・3年上巻「私たちのくらしと音楽」では、音楽に関する知的財産権についての理解が深まるよう、音楽著作権についての具体的な事例がQ&A形式で示されている。 ・二次元コードが目次に記載され、学習内容と関連したウェブコンテンツを見たり聴いたりすることができるページには、「まなびリンク」マークが示されている。 <p>以上の理由で教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	27	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵等が生徒にとって親しみやすく、音楽への関心が高まるよう配慮されている。 ・キャラクターの吹き出しには、生徒が音楽的な見方・考え方を働かせることができるよう、考える観点や生徒の思考の例が示されている。 ・「心の歌」では、我が国の自然や四季の美しさ、文化、日本語の美しさを感じることができるような歌唱共通教材が掲載されている。 ・2・3年下巻「ルールを守って音楽を楽しもう！」では、著作物や著作者の創造性を尊重する態度を育むために、音楽を利用するときに留意することが掲載されている。 ・1年、2・3年下巻には「曲の良さをプレゼンしよう」が掲載され、既習内容を活用して曲の良さをプレゼンする発展的な学習活動が設定されている。 ・学習内容と関連したウェブコンテンツを見ることができる箇所には、二次元コードが記載されている。 ・小学校、中学校9年間の系統性と一貫性を重視して学習内容が配列されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	音楽 器楽合奏（音楽）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの楽曲のページでは、演奏に必要な音の運指図を全て記載するとともに、巻末に「リコーダー運指表」や「ギター&キーボードのコード表」、打楽器の奏法を記載することで、音楽活動を通して知識や技能が身に付けられるよう配慮されている。 ・若手演奏家や伝統音楽・芸能の担い手や後継者などのメッセージが掲載され、楽器の魅力を感じられるよう配慮されている。 ・二次元コードが目次に記載され、学習内容と関連したウェブコンテンツを見たり、演奏を聴くことができる箇所には、「まなびリンク」マークが示されている。 <p>以上の理由で教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	27	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「コラム」や「Q&A」では、知識や技能の定着を図れるよう、楽器の音色や響きと奏法との関わりについての気づきや理解を促す内容が取り上げられている。 ・リコーダーの楽曲のページでは、新出の音の運指図を記載するとともに、巻末には「リコーダーの運指表」、「ギター/キーボードコード表」を記載することで音楽活動を通して知識や技能を習得できるよう配慮されている。 ・課題意識をもって協同したり思いや意図を生かしながら学習したりできるよう、キャラクターの吹き出しで考える観点や、生徒の思考の例が示されている。 ・演奏家の写真やメッセージなどが掲載され、楽器や演奏することでの興味、関心、意欲を高めるよう配慮されている。 ・学習内容と関連したウェブコンテンツを見ることができる箇所には二次元コードが記載されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	美術(美術)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・単元目標が観点別に色分けされて見やすく、生徒は見通しを持って学習、課題に取り組める。 ・制作のヒントとなる図解、写真資料が大きくて見やすくなり、その量が多くなる等、工夫や改善点が多く見られる。 ・各ページに「学習のポイント」があり、良いアドバイスとなる。また、「美術の用語」は専門用語の理解の助けとなる。授業における必要となる用語の補足説明であり、活用できる。 ・「美術1」「美術2・3」の両方とも後半の「学びの資料」が充実しており、「構図」「色彩」「レタリング」「各種道具の使い方」等が分かりやすい。 ・現存する作家、デザイナー(草間彌生氏、佐藤オオキ氏)の特集やインタビューが掲載され、専門家としての解説がある。また、新進の画家 池田 学氏を取り上げている。 ・QRコードが各ページにあり、教科書以外の資料を閲覧することができる。 ・自画像では様々な作品例がある。中でも、生徒作品は非常に見やすく、手本にふさわしい。 ・「ゴッホの自画像」「記憶の固執」「光の絵」「ゲルニカ」など多くの芸術作品が掲載され、解説の量が多く、鑑賞用資料として学ぶことが多い。 ・「美術2・3」日本の伝統色のページp116、117は和風的で、自然との関連性が分かりやすい。 <p>以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術1」の冒頭部分で写真の下に、手書きで生徒の声・つぶやきがある点、制作過程が段階的に、解説付きの写真となっている点など、生徒には非常に参考となる構成になっている。 ・各ユニットの導入として「<input type="text"/>って何だろう？」やイラストキャラクターがページを紹介する構成は生徒にとって親しみやすく、興味付けとなる。特に、小学校の図画工作と、中学校の美術との違いや美術で学ぶことが分かるようになっている。 ・「美術1」「美術2・3」ともに後半の「学習を支える資料」が学習ガイダンス的役割を果たし、分かりやすい。 ・生徒作品が多く掲載されており、特に制作前のアイデアと制作後の自己評価が紹介されているのが生徒にとって自分のこととして考えやすくなっている。(2・3年p46, 58, 72など) ・「美術1」「美術2・3」ともに途中で紙質を変えている。手触りから訴えるものが感じられたり、トレーシングペーパーのページには吹き出し等の書き込みをしたりできる。アイデアが斬新で、インパクトがある。 ・QRコードから資料として作品が見られるだけでなく、彫刻刀の使い方など動画で音声ガイドを聞くことができ、生徒にとっては非常に参考となる。授業で利用でき、また、タブレット端末による個人学習も可能となる。 ・「美術1」p30の「風神・雷神」は説明が手厚く、日本伝統美術を重視する姿勢が感じ取れる点が良い。 ・日本の伝統色のページでは天然から来る色として捉えやすいように、画像が効果的である。 ・日本の美術・文化だけでなく、世界の文化遺産を特集する等、芸術性を高めるにふさわしい。 <p>以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		

種目（教科）	美術（美術）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	116	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料が大きくなり見やすくなった。作者の言葉が見やすく、分かりやすい。 ・見開きで全てのページの冒頭に「学びの目標」があり、生徒は見通しを持って学習できる。 ・3冊ともに、後半にある「学びを支える資料」は、生徒にとって非常に参考になる。 ・「美術1」の冒頭にあるアニメーション背景画は、風景画を描く際の参考となる。 ・「美術1」p32は屏風に折れ線が付けられ、折れ線で折ると立体的になり、屏風を現実的に実感できるようになっている。 ・「美術2・3上」では浮世絵が見開きで充実しており、構図や技法について学ぶことができる。 ・手塚治虫氏の漫画を取り上げている。生徒の興味関心を高めるだけでなく、漫画から学ぶものが大きい。（遠近感、スピード感、臨場感、ストーリー性、カメラワーク、角度） ・世界遺産「サグラダ・ファミリア」の特集ページがあり、建築的要素の中に芸術性を大きく感じ取れるものである。 ・「美術2・3下」の終末には著名人のインタビューがあり、創作活動に対する意欲を高めたり、芸術と日常生活が結びついていることを学んだりすることができるようになっている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	保健体育(保健体育)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得が図れるよう、「学習課題」と「キーワード」が具体的に示されるとともに、章末に発展資料及び確認問題に設け、知識の理解がより深められるよう工夫されている。 ・思考力・判断力・表現力等を育むための工夫として、1単位時間の学習ごとに「活用」の視点が盛り込まれ、考えを深め、説明する学習課題が設定されており、章末の「活用の問題」に繋がるよう配慮されている。 ・自主的、自発的な学習を促すために、イラストや写真、グラフなどの資料が適切に配置され、学びに向かう力を育成できるよう工夫されている。また、関連する内容について、より学びを広げたり、学習したことを自分の日常生活に生かすための視点や課題が示されている。 ・1単位時間で学ぶ項目ごとに「学習課題」が示されており、生徒の思考の流れに沿った学習が展開しやすいように工夫されている。 ・3年間で学ぶ学習内容の各章各項が、学年ごとに適切に配当されており、指導計画が立てやすいよう配慮されている。 ・「口絵」や「章末資料」では、オリンピック・パラリンピックや防災などの現代的な諸課題が取り上げられている。また、SDGs(持続可能な開発目標)の目標達成に向けた発展課題が示され、保健体育の学習で学んできたこととの関連を考えられるよう配慮されている。 <p>以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		
	発行者の番号	4	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得が図れるよう、章末の「学習のまとめ」において、「重要な言葉」とそれらの解説を示し、より詳しく学習が深められるよう工夫されている。 ・思考力・判断力・表現力等を育むための工夫として、「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」において、課題解決的な学習が進められるよう配慮されているとともに、章末には活用の力を高めるための「学びを活かそう」が設けられている。 ・自主的、自発的な学習を促すために、「つかもう」で身近な題材を取り上げ、実生活・実体験から課題を捉えることができるよう工夫されている。 ・心肺蘇生法の「実習」に関しては、折り込みのページに、一連の手順と方法が大きな写真・解説と共に詳細に掲載され、視覚的に理解しやすいよう工夫されている。 ・「口絵」では、食生活の大切さや情報活用能力など、中学生にとって身近な話題が取り上げられ、実生活と繋げて考えられるよう配慮されている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	保健体育（保健体育）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	50	発行者の略称	大修館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得が図れるよう、「学習のまとめ」や「章のまとめ」において、「確認問題」を掲載し、知識・技能の定着が確認できるよう工夫されている。 ・思考力・判断力・表現力等を育むための工夫として、学んだことを活用して発表したり、他との意見交換ができるよう学習活動が設定されている。 ・自主的、自発的な学習を促すために、「課題をつかむ」において、振り返り、やってみる、考えるなど、気づきや思考を促す手立てが工夫されている。 ・「保健室の窓」では、学習した内容を実生活に生かして考えられるような課題が、資料と共に示されており、深い学びへ繋がるよう工夫されている。 ・「口絵」や「特集資料」では、防災や環境問題などに加え、SDGs（持続可能な開発目標）の解説が取り上げられており、保健体育の学習との関わりが考えられるよう配慮されている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	224	発行者の略称	学研
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得が図れるよう、章末のまとめでは知識の定着が確認できるよう、基礎基本問題及び活用問題を設け、理解が深められるよう工夫されている。 ・思考力・判断力・表現力等を育むための工夫として、「考える・調べる」や「まとめる・深める」において、話し合いをしながら課題を解決していけるよう配慮されている。章末には、学びが自分自身の生活に繋がれるよう「生活への活用」が設けられている。 ・自主的、自発的な学習を促すために、「課題をつかむ」において、振り返り、考え、意見を出し合う活動が設定され、普段の生活から課題意識が持てるよう工夫されている。 ・各章毎に「もっと広げる深める」ための学習内容を1～2項目設定し、より深い学びへ繋げる学習が展開できるよう工夫されている。また、章末の「探究しようよ」では、本章の学習がさらに発展的なものとなるよう、探究課題が適切に設定されている。 ・「口絵」や章の扉の「ひと」では、学習内容に関連した専門家のメッセージが掲載され、キャリア教育へ繋がるよう工夫されている。また、体育編の章末には、探究課題として、スポーツとSDGs（持続可能な開発目標）の関わりが考えられるよう配慮されている。 <p>以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	技術・家庭 技術分野（技術・家庭）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・編末の「学習のまとめ」では、自己評価による学習内容の確認と、確認問題や重要語句の一覧を載せることで、学習事項の確実な定着ができるように工夫されている。 ・「技術の見方・考え方」、「発見！技術の最適化」や「技術の天秤」により、生活や社会とのかかわりの学習の視点を段階的に示しており、工夫が見える。 ・「伝統・文化」マークで日本の伝統を学ぶ場が設定されており、また、「技術の匠」では勤労観と職業観の育成やキャリア教育との関連が図られている。 ・「リンク」「他教科」「小学校」マークにより関連ページや他教科、小学校での学習との関連について理解できる配慮がなされている。 ・イラストや写真と文章とのバランスがとてもよく、見やすさとわかりやすさに配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	6	発行者の略称	教 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・文字が大きくて、とても分かりやすい。 ・「見つける」、「学ぶ」、「振り返る」では、授業の流れを明確にする構成となっており、見通しをもって学習できるように工夫されている。 ・「技ビト」、「センパイに聞いてみよう」では、多様な考えや様々な立場の理解に役立つインタビューが掲載されており、幅広く学習できるように工夫されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	技術・家庭 技術分野（技術・家庭）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「トレードオフ」マークを付け、3年間の技術分野で学習した技術の最適化について、それぞれの関連を示すことで、技術の見方・考え方を深められるように工夫されている。 ・「課？題」では、技術の活用について考えることができるようになっており、技術を工夫し創造する力について考えを深められるようになっている。 ・二次元コードが記載されており、学習内容と関連したウェブコンテンツを閲覧することができる。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	技術・家庭 家庭分野(技術・家庭)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の営みに係る見方・考え方について、ガイダンスや各編の導入でマークを用いて分かりやすく解説し、見方・考え方を働かせて理解を深められるよう配慮されている。 ・巻末の「言葉のページ」では、学習を理解するために必要な衣食住に関する独特の言い回しや名称の解説があり必要なときに活用できる。 ・各編の導入に「小学校家庭科での学習」を示し、学びのつながりを意識できるよう配慮されている。 ・各編の導入に「この編で学ぶこと」示し、見通しを持って学習を進めることができるよう配慮されている。 ・巻末の「防災・減災手帳」は、切り離して手帳として活用でき、災害に備えた生活を意識できる。 ・「プロに聞く！」では、学習内容に関連した職業に就く人からのメッセージが紹介され、学んだことを社会に生かす視点をもつことができるよう配慮されている。 ・各編の最後の「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設けることで、各編での学びを実生活に生かせるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	6	発行者の略称	教 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各編の初めに自立度チェックがあり、学習のはじめに自分の普段の生活を振り返り自己評価できるよう配慮されている。 ・内容ごとに「見つめる」、「学ぶ」、「ふり返る」の流れで示してあり、自分の生活を見つめながら学習を進めることができるよう工夫されている。 ・章末の「学びを生かそう」では、課題解決の流れを示し、この流れに沿って課題解決を繰り返すことで、生活を工夫し創造する力が身につけることができるよう配慮されている。 ・各節の最後の「ふり返る」の中の「私の学び」では、身に付けたことを自分の言葉でまとめることで、学習内容の定着を確認できるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	技術・家庭 家庭分野（技術・家庭）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめりごとに「ふり返り」を設けることで学習内容の定着を確認でき、自分の言葉で書くことで内容が身につくよう配慮されている。 ・「生活にいかそう」では、身に付けた知識・技能を生活に生かすことができるよう配慮されている。 ・「生活の課題と実践」では、計画の例を豊富に紹介するとともに、課題を解決していく流れの例や丁寧な解説があり、家庭や地域で実践的な活動を行えるよう配慮されている。 ・「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「発表しよう」などの言語活動を設定することで、自分で考え、表現することができるよう配慮されている。 ・導入課題では、身の回りのことを基にした課題を設定することで、学習に意欲的に取り組むことができるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	英語(外国語)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成が、Unit(目的・場面・状況に重点を置いた4技能を使った学習) Stage Activity (複数の技能・領域を統合的に活用した自己表現) 及び Let's シリーズ(実生活に即したコミュニケーション活動)となっており、CAN-DO リストに基づいて段階的・系統的に学習が進められるよう配慮されている。 ・2、3年のUnitの「Read and Think」では3段階読み(概要・大意をつかむ 詳細をおさえる 表現につなげる)を取り入れて、読んだことを表現(「要約」「発表」「やり取り」)につなげるように構成されている。 ・「Stage Activity」では、Unitの学習で身に付けた力を確かめ、段階的なステップを踏みながら、領域統合的なパフォーマンス活動ができるようになっている。 ・巻頭の「学習の見通しを立てよう」と巻末の「学習をふり返ろう」では、学習の見通しを立てたり、技能が身に付いたかを確認したりすることができるよう配慮されている。 ・「学び方コーナー」では、英語学習のポイントが系統的に紹介され、生涯に渡って英語を主体的に学ぶ態度の育成が図られている。 ・題材は、生徒の興味・関心に即したものをはじめ、防災・安全、環境・資源エネルギーなどの今日的な課題や伝統・文化、平和・国際貢献など多様であり、生徒の学習意欲を喚起し視野を広げる内容となっている。また、「Learning “…” in English」では、他教科の学習内容が扱われ、英語の視点で学びを深めることができるよう考慮されている。 ・1年のUnit1～5には「Enjoy Communication」が設定され、小学校で慣れ親しんだ表現を使って話す活動ができるよう配慮されている。小学校で学習した単語はアイコンで明示され、巻末に小学校の単語630語が一覧で見られるようになっている。 ・判型がA4判であり、単語数の増加に応じた本文・語句欄でありながら過度な負担にならないようになっており、豊富なイラストや写真が効果的に掲載されている。 <p>以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・PROGRAM 冒頭の「Scenes」では、新表現の導入がマンガで示されており、その表現をどのような場面で使用するのかを理解できるよう配慮されている。 ・PROGRAM に2～3箇所設定された「Try」では、ペアでのやり取りを通して、既習表現や語彙の定着、即興力の育成が図られるようになっている。 ・「Steps」では、マッピングやスピーチの構成、言い換えなど、アウトプットの技能を習得できるよう配慮されている。 ・「Our Project」が各学年に3回(3年のみ2回)設定されており、PROGRAM で身に付けた知識・技能を統合的に活用することで、自己表現力の育成が図られるよう配慮されている。 ・「Retell」では、思考・判断し、自分の言葉で表現することができるよう、イラストやキーワードを基に、本文の内容を自分の言葉で再現する活動が設定されている。 ・「Interact」では、学習した言語材料を使う場面が設定され、ペアやグループで即興的なやり取りをすることにより、自己表現力を高めることができるよう配慮されている。 ・「英語で『できるようになったこと』リスト」には、3年間を見通した学習ができるよう、年間4回のチェック欄が設けられている。 ・1年の「Get Ready」では、リスニングやインタビューなど、小学校で慣れ親しんだ活動が設定され、中学校への接続が円滑に行われるよう配慮されている。 ・巻末に基本文型や英語のルールに関することが掲載されている。また、アクションカードが付いており、言語活動に活用できるよう配慮されている。 <p>以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		

種目(教科)	英語(外国語)	教科責任者 氏名	(非公開)
発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> Lessonの「GET」では、語彙、表現、文法や文構造などを4技能の活動を通して活用することで、基礎的・基本的な知識・技能の着実な習得が図られている。 「Project」では、聞いたり読んだりして得た情報を基に、目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理して話したり、書いたりするような領域を統合した言語活動が設定されている。 Lessonの「USE」や「Take Action!」では、知識・技能を活用して聞く、読む、話す、書く活動が設定され、目的や場面、状況に応じて概要や要点を捉えたり、思考・判断して表現したりする力を身に付けられるよう配慮されている。 Lessonの扉では、Lessonで学ぶ文法事項や言語活動を示すことで、単元を通じた学習の見通しを立てられるよう配慮されている。また、巻末の「Role-Play Sheet」は、ペアでやり取りする活動において効果的である。 「For Self-study」では、辞書の活用など英語学習の参考となる情報を提供することで、自主的な学習ができるよう配慮されている。 1年の「Starter」から「Lesson3」では、豊富なイラストにより、目的や場面、状況が分かりやすくなるよう配慮されている。また、「聞いてみよう」から「話してみよう」の流れにより、小学校で慣れ親しんだ表現を振り返りながら、中学校での学びに円滑に接続できるよう配慮されている。 巻末に「What Can I Do?」(CAN-DOリスト)を掲載し、学習の到達度を確認しながら自主的に学習を進められるよう配慮されている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> Lessonの3つのPartの後に「Review」、「Task」、「Grammar」が配置され、Lessonの内容や言語材料の理解を深めることができるようになっている。 「Project」では、それまでのLessonで積み上げてきた知識・技能を総合的・統合的に活用し、グループなどで課題を達成していく活動が設定されている。 「Tips」では、英語の4技能5領域に関わるコミュニケーションに役立つルールやコツが示されている。 巻末の「Activities Plus」では、「話すこと」や「やり取り」の力を高めるための応答例や質問例が掲載されており、赤色マスキングシートで繰り返し練習できるよう工夫されている。 「How to Study」では、自学自習をするための「勉強の仕方」が紹介され、自主的な学習ができるよう配慮されている。 Partごとに「Goal」を設定し、Lesson末の「Lesson～を振り返ろう」で自己評価を行うことにより、学習の見通しを持ち、学びを振り返ることができるよう配慮されている。 1年の「Springboard」の「Sugoroku」では、小学校での既習表現を使って質問に答える活動が設定され、小学校で学んだことを振り返りながら、中学校での学習を始められるよう配慮されている。 巻末に「Can-Do 自己チェックリスト」を掲載し、自己評価ができるようになっている。また、3年間を通して、どのようなことができるようになるのかについて見通しを持って学習に取り組めるよう考慮されている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		

英 語

種目（教科）	英語（外国語）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 末の「Goal」と年間3回設定された「You Can Do It!」では、学習した知識や技能を使いながら、目的や場面、状況に応じて伝える内容を考え、表現する活動が設定されており、複数の領域を統合した活動に取り組むことができるよう配慮されている。 ・綴じ込みの「Let's Talk」では、自分自身や身近な話題に関する共通テーマで、3年間継続的に話すことにより、発信に必要な知識や技能の定着が図られている。 ・巻末の「Story Retelling」では、各 Unit の会話文をストーリーに沿った写真やキーワードを基に説明し合う活動によって、伝えたい内容を整理し自分の言葉で表現する力を育むことができるよう考慮されている。 ・「Daily Life」では、実生活に即した場面や状況を設定した教材を取り入れ、将来、同様な場面に出会ったときに役立つ英語力が身に付くようになっている。 ・「World Tour」では、様々な国や世界で実際に活躍する人など多様な題材を取り扱い、世界への視野を広めたり国際理解を深めたりできるようになっている。 ・Unit の扉の「Goal」と Unit 末の「ふり返り」では、単元目標を確認したり、「何ができるようになったか」を振り返ったりすることができるように配慮されている。 ・「Your Coach」では、英語の領域別の学習ポイントを示し、自主的な学習ができるよう配慮されている。 ・1年生の「Let's Be Friends!」の「英語の音とつづりを確かめよう」では、発音と綴りのルールを繰り返し学ぶことができるようになっている。また、Unit 1～3の本文の一部をマンガのセリフ形式で示し、小学校の音声を中心にした学びから徐々に文字に慣れていくよう配慮されている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit を構成する「Get Ready」、「Practice」、「Use」では、基礎的・基本的な知識や技能が身に付くよう、文法事項や語句、表現を繰り返し活用する細かい学習過程を踏んだ活動が設定されている。 ・「Read & Think」では、概要把握、内容理解を行った後に発信活動をすることで、本文の内容に関連して自分の考えや意見を述べるができるよう考慮されている。 ・「Project」では、各 Unit で学んだ知識や技能を生かして自己表現し、伝え合う活動が設定されており、活動を通して表現力が育成されるよう配慮されている。 ・「Let's Talk」では、身近な場面での会話を通して、実生活における表現力が身に付けられるようになっている。 ・2、3年の Unit 末の「Express Yourself」では、Unit のテーマに沿った短い文章をつくり、発表することを通して、学んだ知識や技能を生かしながら自己表現できるよう配慮されている。 ・Unit の最初に明示されている「Unit～の目標」では、生徒がそれぞれのパートで何ができるようになるかを意識することができ、主体的な学びが進められるよう配慮されている。 ・「More Information」では、Unit のテーマや内容について深く知ることができ、題材への興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 ・1年生の「Let's Start」の「アルファベットを読み書きしよう」では、小学校で学習したアルファベットを読んだり書いたりして丁寧に復習することができるよう配慮されている。 <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の巻頭にある「話し合いの手引き」には、話し合いの進め方や司会の言葉が具体的に示されており、わかりやすい。 ・切り取り式の心情円とホワイトボード用紙が用意されているので、授業で活用できる。 ・「Action!」では役割演技を通して、学習内容を自分のこととして捉え、考えることができるよう配慮されている。 ・全教材の冒頭に主題を明示し、授業の導入で主題に関する投げかけをすることで、生徒が問題を把握できるようにし、教材末の「考えよう」によって考え、議論し、問題を解決するというような学習過程が示されている。 ・各教材に「つぶやき」コーナーのスペースがあり、感じたことや考えたことを自由に書き込むことができる。 ・巻末の「自分の学びを振り返ろう」では、学期ごとに振り返りができる。 ・いじめ問題対応ユニット、生命尊重ユニットがあり、関連した内容をまとめて学習することで、それぞれの項目について多面的、多角的に考えを深めることができる。 ・様々な分野で活躍する人や被災地の実話、社会参画について考える新聞の投書等、現代的な課題について扱った複数の教材が掲載されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭の「道徳科で学びを深めるために」では、それぞれの場面において、言語活動を充実させる視点や話し合い活動の留意点が示されている。 ・全教材の冒頭では問題意識を持たせたり、問題場面を把握させたりするための問いが設定されている。さらに、教材末の「学びの道しるべ」では自分の考えを持つ問いや、話し合うことで考えを広げたり深めたりする問いが設けられている。 ・「やってみよう」のページでは、道徳的諸価値の理解を日常生活の中での行為や習慣に結びつけるため、役割演技をするなどして、日ごろの体験を想起して話し合う活動が設けられている。 ・巻末には、毎時間振り返りができる「道徳の学びを記録しよう」や、学期末ごとに振り返りができる「道徳の学びを振り返ろう」が設けられている。さらに、1年間を振り返って、生徒が自分の今後の目標を書いたり、保護者がメッセージを記入したりする欄も設けられている。 ・現代的な課題については、いじめ問題や生命倫理の問題、情報モラル、社会参画、自然・環境等のテーマに対し、多面的・多角的に考えることができるよう、複数の教材が各学年に設定されている。 ・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度に関する教材が、「補充教材」として掲載され、地域教材等と入れ替えて弾力的に使用できるよう工夫されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

道 徳

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末の「考えよう」では道徳的な価値についての理解や自覚を深める問いが設定され、さらに「見方を変えて」では、生徒が多面的・多角的な見方や考え方ができるように視点を変えた問いが設定されている。 ・教材末の「つなげよう」では、生徒の日常生活などに関連した問いかけや同じ内容項目の教材、関連する図書が紹介されている。 ・「深めたいむ」のページでは、役割演技や話し合い活動を通し、教材で学んだ道徳的価値を自分のこととして捉え、深められるよう配慮されている。 ・巻末には「学びの記録」があり、各時間で学んだことを記録することができ、自分の学びの変容を実感させる工夫がある。 ・「広げよう」と題し、人と人との関係づくり、共生、環境、国際理解といった現代的課題への視野を広げる4つのコラムが設定されている。 ・巻末には、様々な分野で活躍している著名人から、直筆の「あなたへのメッセージ」が掲載され、興味を持って読むことができる。 ・教材の配列が、1年を3つのシーズン（まとめり）に分け、さらにその中で複数の教材で構成されたユニットを設けてある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
	発行者の番号	116	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳科での学び方」では、対話的で深い学びにつながるように1時間の学習の流れが3ステップで示されている。また、発表や話し合いの仕方等、言語活動を充実させ、「考える道徳・議論する道徳」につながるように工夫されている。 ・問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材には「学習の進め方」が示されており、授業の展開がイメージしやすくなっている。また、無理なく実施できる体験活動も工夫されている。 ・別冊「道徳ノート」は、心の成長の記録として一年間の生徒の個人内評価に役立てられるよう充実した内容となっている。1時間毎の記録に加え、学期ごとの振り返りや、保護者のコメントも残せるようになっており、学びを家庭に広げたり成長を励ます評価に活用したりできる。 ・系統的・発展的な学習ができるように学年テーマを設け、自尊感情や誇りと志を育てる工夫がされている。また、道徳以外での活用を意識した各教科と関連したコラムも掲載されている。 ・教材末の記入欄「自分に+1」では、学んだことを前向きに生かすことで自分に自信が持てるように工夫されている。 ・いのちの大切さや情報モラルなどの現代的な課題について、年間の見通しをもって学べるよう構成されている。また、「いじめ」について多様な題材が複数扱われ、起きやすい時期に配置されている。ユニットとして、より深く、多面的・多角的に考えられるよう工夫が見られる。 ・新ユニットとして「社会への参画」「将来の生き方」に関わる教材が複数扱われており、新学習指導要領で求められている「持続可能な社会の創り手」の育成が意識されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	224	発行者の略称	学研
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の巻頭の「扉を開く」では、「考えを深める四つのステップ」が示され、授業の展開がイメージしやすくなっている。 ・自分自身の心の成長や考えの変容を自覚できるよう、巻頭の「マイプロフィール」では現在の自分を、巻末の「心の四季」では1年間の成長を書くページが設けられている。 ・巻末に「学びの記録」が設けられており、学期毎の学習を振り返ることができる。心に残った授業について書く欄は、評価にも活用することができる。 ・「命の教育」に重点が置かれており、「生命の尊さ」の教材が各学年で3本ずつ扱われている。「いのちの大切さ」を考える教材も複数扱われている。 ・「SDGs（持続可能な開発目標）」と「キャリア教育」が、全学年でユニット学習とされている。視点や内容項目の異なる複数の教材を扱うことで、多面的・多角的に考えられるようになっていく。 ・AB判で、さし絵や写真、図版などの資料が多く用いられ、イメージを効果的に用いて学習を進められるようになっている。 ・教材の前に主題名を示さないことで、特定の価値観を押しつけず、生徒自らの気付きや考えを促せるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	232	発行者の略称	廣あかつき
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と別冊ノートから構成されており、教科書とともに考え、話し合い、ノートで自分をみつめ、振り返ることができる構成になっている。 ・別冊ノートには、心にしみる詩や歌詞、考えを深めるための資料などが多く掲載されており、「学習の記録」以外としても活用できるように工夫されている。 ・webコンテンツが充実しており、映像、写真などを補助資料として活用でき、教材の準備の際に役立つ。 ・各教材には、考える・話し合う場面が設定されており、「学習の手がかり」「問い」「考えを広げる、深める」というように、生徒が学習の見通しをもって学ぶことができるように構成されている。 ・著名人やスポーツ選手、歴史上の偉人などを題材とした教材が多数掲載されており、生徒が興味を持って学習できる。 ・教材や道徳ノートは4つの視点毎に色分けしてあり、内容項目との関連がわかりやすい。 ・「thinking」では生命倫理に関することやいじめ防止についてなど、現代的な課題について理解を深めたり、視野を広めたりできるよう、教材に関連した補足資料や実話が掲載されており、生徒が考えを深める際の参考となる。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	（非公開）
発行者の番号	233	発行者の略称	日科
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・先人、著名人の体験や夢に学ぶ人物教材が豊富で、生徒が興味を持って学習できる。 ・全国各地の地域を事例とした教材が数多くある。石川県に由来する教材も多い。 ・各学年オリジナル教材が多く、生徒が興味・関心をもって取り組むことができる内容となっている。 ・生徒が自然と議論が巻き起こるような考える仕掛けが「教材内容」と「問い」に施されている。 ・様々な価値観を共有するために、LGBTの問題や障害者差別解消法などの現代的な課題について考える教材がある。 ・内容項目順に教材が配列されており、各学校で年間指導計画を立てるときに便利である。 ・巻頭の「道徳科って何を学ぶの?」と「心の成長を目指して」では、学習の見通しが立てやすく、何を考えていけばいいのかがわかりやすい。 ・いじめを許さない心を育成するために、生命を尊ぶ態度を育てる教材を充実させている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

